オイスカ高等学校

浜と松プロジェクトチーム

浜と松プロジェクト~防潮堤工事による環境影響調査~

砂丘浸食問題は、下流地域だけでは解決できない問題ですが、継続的にクリーン運動や浸食問題、生態系、防潮堤工事と広く中田島砂丘に関わる問題調査

に取り組んでいます。市木「松」の松枯れ問題にも注視し、松くい虫に強いクロマツの研究、育苗を行っています。防潮堤の植栽後も生育状況を調査するため、行政と協働で生育調査・管理を行っています。他校とも協働活動をスタートしました。



加藤学園高等学校

化学部

吸光光度法による全窒素・硝酸の測定及び浄化剤の効用確認について

化学部では、近年黄瀬川の水質調査を行っています。本研究では溶岩石及び 活性炭との連動浄化機能を期待して新たな浄化装置を組み立てました。また、

吸光光度法によって全窒素、硝酸の値を測定しました。吸光光度法は、試料の吸光度、透過率及び反射率を求める装置であり、再現性が高いからです。今後、全窒素や硝酸の値だけでなく、他の値も減少させる臨床実験を行っていきたいと考えます。



学校法人静岡理工科大学 星陵高等学校

バイオメタン班

バイオメタンを活用した環の文化

本校では、3年前から再生可能エネルギーのバイオメタンに関する研究を開始しました。 バイオメタンは、生ゴミなどの有機性廃棄物から微生物のはたらきで生成できる可燃性

のガスで、再生可能エネルギーとして利用できます。 生成後の残渣は消化液と呼ばれ、作物栽培の際の液体 肥料として利用できます。本校では小規模のバイオメタ ン施設を開発し、地域に分散して配置するシステムの普 及を検討し、地域内の狭い範囲の資源循環で広い地域 全体の循環も可能になると考えています。



静岡県立三島北高等学校

STEM for SDGs生物班

災害時の食料供給を目指した水耕栽培によるよりはやく育てるための条件の検討

私たちは南海トラフ巨大地震などの災害に備えた食料供給について、SDGsの観点から研究を始めました。

災害時に求められる栄養豊富な野菜を、より早く、自分たちで供給できるようにするために、水の循環ができる水耕栽培システムの完成に挑戦しています。今年は、モロヘイヤに注目し、どのような環境ならば早く育てることができるのか、LEDの光の割合や照射時間を変えて違いを比較しています。



ф

部

10 団 体

富山県立滑川高等学校

海洋クラブ

持続可能な社会を目指した滑川産イワシの活用

滑川市はホタルイカが有名である。私たちは、ホタルイカのように有名ではないイワシをアップデートさせる取り組みを始めた。イワシは缶詰として商

品にし、缶詰には使えない残渣は段ボールコンポストにして肥料にし、植林活動で山に撒いた。山が豊かになることで海が豊かになり、魚がとり続けられる持続可能な漁業を目指した。この活動を発展させ、SDGsの目標が達成できるのではないかと考えた。



福井県立武生東高等学校

なかぼっちーむ

コウノトリを守ろう ~越前市をコウノトリの飛び交う町にしよう~

越前市をコウノトリの飛び交う町にしたいと思い活動を始めました。越前市のエコビレッジセンターではコウノトリが住みやすい環境づくりに取り組ん

でいます。30数年前に越前市に舞い降りた「武生」というコウノトリは生涯で百十五個も卵を産みましたが、唯一誕生し大きく成長したのは一羽だけでした。私たちは人口巣を作成するなどコウノトリが住みやすい環境づくりに取り組んでいます。



長野県上伊那農業高等学校

コミュニティデザイン科 グローカルコース 上農 perfume〜人と森をつなぐプロジェクト〜

伊那市には面積の8割を占める豊富な森林資源がある。私たちは、人と森をつなぐ伊那谷の新しいライフスタイルのデザインを目的に「上農の香り」の商

品化に取り組んだ。上農の香りルームスプレーは、神経疲労や神経痛、風邪などに効果があることもわかった。この取り組みは地域と森をつなぐ架け橋となり、行政も含め持続可能な活動に発展している。今後も高校生の視点から活動を展開したい。



長野県上伊那農業高等学校

バイテク班

「幻の花」アツモリソウを未来に残したい!~美ヶ原のアツモリソウ保護活動~

アツモリソウは乱獲や盗掘、鹿による食害や環境の変化により自生する個体がほとんどない希少な植物で、絶滅危惧 I A類に指定されています。特に美ヶ

原のアツモリソウが危機的状況で、発芽率が10万分の1と極めて低いため、植物バイオテクノロジーを用いて本校で美ヶ原の苗の増殖をする生息域外保全と、生息地における人工交配及び保全活動をおこなう生息域内保全をおこなっています。



長野県長野高等学校・長野日本大学高等学校

学生団体「Gomitomol

海無し県長野からプラゴミを無くす!「清走中~Run for trash~」

「ゴミ拾いの楽しさを広めたい」。世界中の海がゴミだらけになっている現状を知り、海無し県の長野でも何か出来ないかと考え、たどり着いたのがゴミ

拾いでした。初めはゴミを見つける度に憤慨していましたが、徐々に"ワクワク"に気付くようになりました。そこでゴミ拾いとゲーム要素を組み合わせて、老若男女が参加できるごみ拾いイベント「清走中~Run for trash~」を長野県長野市で開催しました。

